

低所得世帯への給付金、高温・渇水対策などの補正予算を可決

1月26日(金) 臨時市議会

上越市は先月26日に臨時市議会を招集し、一般会計の補正予算などを提案しました。

補正予算の規模は約19億9千万円で、国の準備費や補正予算で措置された対策が中心です。

低所得世帯に給付金

一般会計では、まず物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して、住民税均等割のみ課税世帯と所得の少ない子育て世帯に対する給付金を支給します。

均等割のみ世帯には8万5千円(詳しくは下の記事をご覧ください)、低所得の子育て世帯には子ども一人あたり5万円を支給します。

高温・渇水対策なども

また、高温・渇水による園芸作物等の収量や品質低下の影響を緩和するため、必要な機械などの導入費の一部を支援します。

次に、昨年10月の豪雨で被災した市道高住丹原線の復旧工事を行います。

事業の前倒し実施も

その他、国の補正予算を利用して、来年度に計画していた事業の一部を前倒して実施するための経費を増額します。

下水道事業会計でも来年度の計画の一部を前倒しして行います。

別の議案では、戸籍謄本の広域交付(他の市町村の戸籍謄本を交付できるようにすること)ができるようになるため、その手数料を定める条例改正が提案されました。そして、以上の各議案について、審議されました。

地震対策の専決処分

その他、1月中に市長

市民税均等割のみ世帯に85,000円支給

市では、昨年6月に市民税均等割のみ世帯に対して、市独自に15,000円を支給しました。これは国の措置が市民税完全非課税世帯だけを対象にしている中、市の英断ともいべきもので、大いに市民に喜ばれました。

一方、このほど国の補正予算措置で、均等割のみ世帯に対して10万円を支給できるだけの交付金が配分されることになりました。このことはマスコミでも報道されており、市民の中には10万円の給付を心待ちにしている人もおられたと思います。

ところが、上越市は10万円ではなく85,000円しか支給せず、残り15,000円分は「すでに昨年支給した」として市の財布に戻すという補正予算を組みました。これでは結局、市の独自支出はなくなり、英断どころか、6月の予算措置は「カッコつけ」ということになってしま

います。ちゃっかりしてるというか、しっかりしているというか、期待を裏切るような予算立てといわざるを得ません。

市は、「今回10万円そっくり支給すると、均等割のみ世帯には115,000円支給することになり、より困っている完全非課税世帯(すでに10万円を支給)よりも支給額が多くなってしまおう」と言いますが、そうであれば、完全非課税世帯には同じように市独自で上乗せして逆転しないようにすればいいだけのことです。こうしたことをせず、「不公平にならないように、少ない方に合わせて減らす」という考え方のようなのですが、これは冷たい考え方といわれても仕方がありません。

なお、日本共産党議員団は、不十分ではあっても一刻も早く支給することが重要であるという立場から、問題点を指摘しつつ補正予算に賛成しました。

の専決で処分された能登半島地震対策の緊急予算が報告され、それらについての審議も行われました。これらはすべて市内で発生した地震による被害の復旧のための処置です。

緊急に処分された予算では、公共下水道の復旧費や、市道、ガス水道施設、公共施設などの修繕、それに被災住宅の応急修理費の支援経費があります。下水道の復旧費は、1月5日に緊急に処置した補正予算では不足し、12日に追加したという経緯もありました。

全会一致で採択

これら議案はその日のうちにすべて審議され、全議案が全会一致で可決されました。

日本共産党議員団は、地震対策の補正予算をはじめ、いずれも急いで執行しなくてはならない予



サイの神
吉川区河沢町内会

算であることから、その背景となった地震の被害実態を明らかにするとともに、被災者に寄り添った執行を心がけることを求めました。それとともに、支援の対象となっていない一部損壊の家屋への支援や、地域のコミュニティ施設となっている神社、祠などの復旧費の支援などを求めました。審議の過程では、当局から「一部損壊の家屋への支援を検討している」という趣旨の答弁もありました。大きな前進です。

日本共産党上越市議員団ニュース
No.822 2024年2月4日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))
ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>

また激増 要注意!

上越保健所管内
新型コロナウイルス感染症
感染者定点報告数

1月1日~1月7日	5.88 (県 5.62)
1月8日~1月14日	8.88 (県 6.65)
1月15日~1月21日	13.50 (県 10.08)